

# 令和5年度 測量体験学習事業掲載記事（建設経済新聞社 6月2日(金) 掲載）

実施日：令和5年5月24日（水）  
場所：京都市立西野小学校（山科区）

(5) 2023年(令和5年)6月2日(金)

建設経済新聞

昭和42年12月25日第三種郵便物認可

京測協

## 小学生が測量技術を実感

「測量の日」記念 体験学習

6月3日は「測量の日」。一般社団法人京都府測量設計業協会（京測協／菊地博之会長）は、京都市山科区の京都市立西野小学校で、6年生を対象に令和5年度測量の日「記念事業「測量体験学習」を行った。次代を担う子どもたちに、生活の中で様々な用途で使われている測量の意義や、測量の基礎について、ゲー

となる5月24日、協会員ら約80人が事業に参画した。体育館に集合した西野小学校6年生55人を前に、開会挨拶した菊地会長は「今

内に、事前に測量して京測協が測量体験学習記念として寄贈・設置した、学校の位置（緯度・経度・標高）を示す標柱の除幕式を児童らと行った。

「歩測コーナー」では、20mの直線を何歩かかったか数えて歩いてもらい、その歩数から各人の一步の幅を割り出してもらった。

「距離ボール投げ」コ

ナードでは、ボールを投げてもらい、ボール落位置まで何歩かかったかを数えてもいい、その歩数に「歩測コーナー」で割り出した

「高さレベルコーナー」では、目測で、目標となる2点（フェンス等）の高低差を推測してもらい、その後、測量機器（レペル）を用いて測った誤差がどの程度あるかを体験してもらつた。

「GPSで地球に描く」では、自測で、特定の前後に府内各地の小学校で実施しており、国土地理院近畿地方測量部の清水乙彦次長が講師ともに、GPSなどの最新測量機器を使い「測量」を講演。地図の歴史や測量技術が活用されている

ところを分かりやすく説明した。ナードでは、自測で、特定の校舎の屋上等）の高さを測定体験では、まず、「私たちの学校は地球のどこで測った数値との誤差がどの程度あるかを体験してもらつた。

「GPSで地球に描く」では、自測で、特定のイラスト等を用いて測った数値との誤差がどの程度あるかを体験してもらつた。

「GPSで地球に描く」では、事前ケループごとにイラスト等を決め、GPSを携帯し、そのイラスト等に沿って校庭を走り、その軌跡をパソコンによる記念撮影を行った。

「GPSで地球に描く」は、昭和24年（1949年）6月3日に測量法が公布され、平成元年（1989年）に満40年を迎えたことを機に制定された。



校庭に描かれた実物大の鳳凰堂と参加者の記念撮影